

近代日本史選択者のみなさんへ

4月14日にHPで連絡した課題に分かりにくい表現があったので、追加で連絡します。

- 1 A版などの大きめのノートを用意すること
→これは**授業が始まってから使用するノート**です。授業開始に間に合うように早めに準備するようにしてください。

 - 4 教科書のワークノートについて。
ワークノートは書き込んでかまいません。期末考査終了後に提出してもらう予定です。しっかりと取り組んでください。

 - 5 1とは別のノートを一冊用意し、次の課題に取り組んでください。
※このノートは大きさの指定はありません。(手元にあるノート、ルーズリーフなど自分で用意できるものを使ってください。)ただし、答え合わせをしたり質問をしたり、見直しができるようにしておきましょう
- ① 別に添付してもらっていた内閣一覧表を書写すること。
 - ② 大学受験で日本史を利用して受験する者は、副教材「共通テスト実力トレーニング日本史2021」(啓隆社)をやるように。
解答は絶対に問題集に直接書き込まず、別に用意したノートに書くこと。これを2学期まで3回以上繰り返すこと。

地歴公民科の学習内容はどうしても覚えなれないといけなことが多く出てきます。

手を動かし、声を出し印象に残るように学習していきましょう。

★！受験科目で世界史を選択する人は、2年次で学んだ範囲の復習を始めて下さい！★

★近代世界史（担当：清水）を選択している生徒がやっておくこと

手順：教科書と資料集を参照しながら、

「ウイニングコンパス 世界史の整理と演習」の以下のページに、期間ごとに取り組む

注意！：① 解答は、授業で使う予定のB5版のノートに、番号を書いて書き込むこと。

(例：p.76 ① 1. 紅巾の乱 2. ○○○ 3. …)

② ウイニングコンパスに直接書き込まない。ルーズリーフ等は使わない。

ノート以外に書いた場合、あとでノートに書き写してもらいます。

③ 教科書と非常に似た記述で空欄が設けられているので、よく見ること。

範囲：(期間は目安です)

4/13～19 = p.76-77 (2頁)「明・清」の「ポイント整理」

4/20～26 = p.80-82 (3頁)「イスラーム諸王朝の繁栄」の「ポイント整理」

4/27～5/6 = p.86-87 (2頁)「ヨーロッパ世界の拡大」の「ポイント整理」

★世界史研究（担当：清水）を選択している生徒がやっておくこと

手順：近代世界史と同じ（上記参照）

範囲：(期間は目安です)

4/13～19 = p.138-140 (3頁)「帝国主義・世界分割」の「ポイント整理」

4/20～26 = p.144-145 (2頁)「アジア諸国の改革と民族運動」の「ポイント整理」

4/27～5/6 = p.148-149 (2頁)「第一次世界大戦とロシア革命」の「ポイント整理」

★政治経済（担当：清水）を選択している生徒がやっておくこと

手順：以下の①～⑤を、授業で使う予定のB5版のノートに書き込む。

① 去年12月から今年4月までの日経平均株価の月間の「終値」をネットで調べる

② 同じ期間の同じ調査を、アメリカのダウ工業株30種平均についても行う

③ 12月末から4月末までで、株価はそれぞれ何%上昇または下落したかを計算する

④ ③の原因を自分なりに考えて、読む人にも伝わるように記述する

(間違っても一向に構わないので、自分なりの考えを述べること)

⑤ 調査した結果や、この状況・事態についての感想を記述する (3行以上)

※ 大学受験で日本史を利用して受験する者は、別にノートを用意し、副教材「共通テスト実カトレーニング日本史 2021」（啓隆社）をやるように。解答は絶対に問題集に直接書き込まずにノートにやり、2学期まで3回以上繰り返すこと。

☆近代日本史選択者

近代日本史選択者の皆さんは以下の課題に取り組んでください。

1. A 版など大きめのノートを用意すること。
2. 自分の生年月日を西暦でいえるように。
3. 下記の事項を覚えること。
 - ・ 「旧石器→縄文→弥生→古墳→飛鳥→奈良→平安→鎌倉→室町→安土 桃山→江戸→明治→大正→昭和→平成→令和」（順番通り完璧に）
 - ・ 教科書裏表紙をよく見て旧国名と現在の都道府県名の対応を理解し、旧国名を覚えること。
4. 教科書 P154～P173 まで読み、ワークノート P67～P75 を理解して完成させておくこと。
（1学期期末考査終了時に提出）
5. 別のノートに、別紙（このファイルの3枚目）の内閣一覧を書写すること。

☆日本史研究選択者

日本史研究選択者の皆さんは以下の課題に取り組んでください。

1. A 版など大きめのノートを用意すること。
2. 下記の事項を覚えること。

「旧石器→縄文→弥生→古墳→飛鳥→奈良→平安→鎌倉→室町→安土桃山 →江戸→明治→大正→昭和→平成→令和」（順番通り完璧に）
3. 教科書 P96～P111 まで読み、ワークノート P42～P48 を理解して完成させておくこと。
（1学期期末考査終了後に提出）

歴代内閣一覧表

内閣総理大臣	所属・出身	成立	事項
1 伊藤博文①	長州	1885.12	内閣制度発足／三大事件建白運動・大同団結運動／保安条例公布
2 黒田清隆	薩摩	1888.4	枢密院設置／大日本帝国憲法発布
3 山県有朋①	長州	1889.12	第1回帝国議会開く／教育勅語発布
4 松方正義①	薩摩	1891.5	大津事件／足尾銅山鉱毒問題／選挙大干渉
5 伊藤博文②	長州	1892.8	日英通商航海条約調印(第1次条約改正)／日清戦争／下関条約調印／三国干渉
6 松方正義②	薩摩	1896.9	大隈重信入閣(松隈内閣)／八幡製鉄所設立／金本位制確立
7 伊藤博文③	長州	1898.1	憲政党結成
8 大隈重信①	憲政党	1898.6	最初の政党内閣(隈板内閣)／共和演説問題／憲政党分裂し内閣瓦解
9 山県有朋②	長州	1898.11	文官任用令改正／軍部大臣現役武官制確立／治安警察法公布／北清事変／立憲政友会結成
10 伊藤博文④	立憲政友会	1900.10	八幡製鉄所操業開始／社会民主党結成
11 桂太郎①	長州	1901.6	日英同盟締結／日露戦争／ポーツマス条約調印／日比谷焼打ち事件／日韓議定書・日韓協約(第1次・第2次)締結
12 西園寺公望①	立憲政友会	1906.1	日本社会党結成(翌年解散)／鉄道国有法公布／ハグ密使事件／第3次日韓協約締結／南満州鉄道株式会社設立
13 桂太郎②	長州	1908.7	大逆事件／韓国併合／第2次条約改正(関税自主権の回復)／工場法公布
14 西園寺公望②	立憲政友会	1911.8	『青鞥』創刊／友愛会設立／上原陸相辞任で崩壊
15 桂太郎③	長州	1912.12	第一次護憲運動(大正政変)
16 山本権兵衛①	薩摩	1913.2	軍部大臣現役武官制廃止／ジーマンス事件で総辞職
17 大隈重信②	立憲同志会	1914.4	第一次世界大戦に参戦／中国に二十一カ条要求を強要／吉野作造の民本主義
18 寺内正毅	長州	1916.10	石井・ランシング協定調印／シベリア出兵開始／米騒動で総辞職
19 原敬	立憲政友会	1918.9	最初の本格的な政党内閣／三・一独立運動／五・四運動／ヴェルサイユ条約調印／国際連盟加盟／最初のメーデー／戦後恐慌／原首相刺殺される
20 高橋是清	立憲政友会	1921.11	四カ国条約・九カ国条約・ワシントン海軍軍縮条約調印／全国水平社創立

内閣総理大臣	所属・出身	成立	事項
21 加藤友三郎	海軍	1922.6	日本共産党結成(非合法)／関東大震災
22 山本権兵衛②	海軍	1923.9	虎の門事件で総辞職
23 清浦奎吾	貴族院	1924.1	第二次護憲運動／総選挙で護憲三派が圧勝し総辞職
24 加藤高明	護憲三派(憲政会)	1924.6	護憲三派連立内閣／幣原協調外交／日ソ基本条約調印／治安維持法・普通選挙法公布／ラジオ放送開始
[25年8月より憲政会単体内閣(加藤高明②)]			
25 若槻礼次郎①	憲政会	1926.1	金融恐慌で銀行の休業続出
26 田中義一	立憲政友会	1927.4	モラトリアム実施／山東出兵／立憲民政党結成／張作霖爆殺事件(満州某重大事件)で総辞職
27 浜口雄幸	立憲民政党	1929.7	金輸出解禁／昭和恐慌／ロンドン海軍軍縮条約調印／統帥権干犯問題／浜口首相狙撃事件
28 若槻礼次郎②	立憲民政党	1931.4	柳条湖事件(満州事変始まる)
29 犬養毅	立憲政友会	1931.12	金輸出再禁止／第一次上海事変／満州国樹立／血盟団事件／五・一五事件で犬養首相暗殺／最後の政党内閣
30 斎藤実	海軍	1932.5	日満議定書調印(満州国承認)／国際連盟脱退
31 岡田啓介	海軍	1934.7	天皇機関説問題／国体明徴声明／二・二六事件のあと総辞職
32 広田弘毅	外交官	1936.3	軍部大臣現役武官制復活／日独防共協定調印／西安事件
33 林銑十郎	陸軍	1937.2	宇垣流産内閣のあと組閣
34 近衛文麿①	華族	1937.6	盧溝橋事件(日中戦争始まる)／国民精神総動員運動／日独伊防共協定調印／南京事件／近衛声明(第1次～第3次)／国家総動員法公布
35 平沼騏一郎	枢密院議長	1939.1	国民徴用令公布／ノモンハン事件／独ソ不可侵条約に対応できず総辞職
36 阿部信行	陸軍	1939.8	第二次世界大戦始まる／創氏改名強制
37 米内光政	海軍	1940.1	汪兆銘の南京政府樹立
38 近衛文麿②	華族	1940.7	新体制運動／北部仏印進駐／日独伊三国軍事同盟・日ソ中立条約調印／大政翼賛会・大日本産業報国会発足
39 近衛文麿③	華族	1941.7	南部仏印進駐
40 東条英機	陸軍	1941.10	太平洋戦争始まる／カイロ宣言
41 小磯国昭	陸軍	1944.7	米軍の本土空襲・沖縄本島上陸／ヤルタ会談
42 鈴木貫太郎	海軍	1945.4	広島・長崎に原爆投下／ポツダム宣言受諾